

Vol.04

あこがれのIT社長に会いに行く!

IT業界の仕事ってどんな感じ?



自身もIT会社の代表を務める大堀君が、「IT企業の社長」の仕事について深堀りすべく、新潟を拠点に活躍する株式会社ユニークワンの立川和行さんを訪ねました。対談で見えてきた、IT企業の社長のリアルをお届けします。



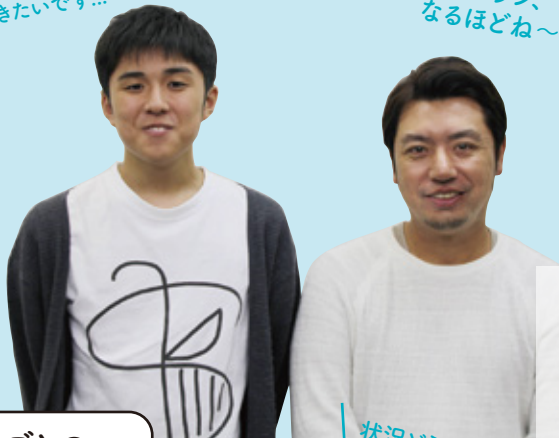
おおほり そうた 大堀蒼汰です!

新潟県立新潟東高等学校2年

小学校5年生の時からビジネスを始め、中学校卒業後Webサイトの制作を行う【会社ホームページ.JP】という事業や、広告運用の事業を展開する合同会社ドルマネーを設立しました!

もっと会社を大きくして行きたいです...

ウンウン、なるほどね~



株式会社ユニークワン 代表取締役社長

たちかわ かずゆき 立川和行さん

新潟東高等学校卒業後、慶応義塾大学総合政策学部に進学。卒業後は、NTTドコモにて経営戦略を練るプロジェクトに携わる。その後新潟にUターンし、実家のカガヤキ農園で働く期間を経て、株式会社ユニークワンを立ち上げ、現在に至る。

こんな会社です!

株式会社ユニークワン

2014年4月に設立した、新潟・仙台・金沢・東京に拠点を置くインターネットの広告代理店。SNS、YouTubeなどを活用したマーケティング等も手掛けている。

〒950-0855 新潟市東区江南1-9-11

新潟市の地域情報サイト『にいがた通信』を運営。「ガタ子」さんがグルメやイベント情報などを市民目線で発信しています。



「にいがた通信」はこちら



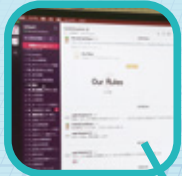
ガタ子さん

状況どうだった?



テレビ会議の様子。PCさえあれば、どこでも仕事ができるんだって!

IT業界のしごとの様子をのぞき見!



立川さんがよく仕事で使っているビジネスチャットツール「Slack」。社内外の人たちとSlackでコミュニケーションをとっています。



大堀君の仕事風景。新潟駅南口のブローカ3のシェアオフィスを拠点に活動。今は、新規事業立ち上げに力を注いでいます!

立川さんの仕事風景。大きなモニターには、3画面分映すことができる。

Mirais CROSS TALKING

『誰もやっていないなら僕がやろう』



僕は小5の時、買ったフィギュアをヤフオクで売ったら利益が出たことが面白くて、そこからビジネスに興味を持ち、起業しました。立川さんはなぜ起業したんですか?



実は、元々起業しようと思っていたわけではないんです。僕は大学卒業後、東京で仕事をしていました。新潟に帰ってきたのはインターネットは世界を近づけるものだと思っていたから。例えば、今まではバリコレの様子を知りたくても、東京で雑誌が作られ、地方の人たちに届くまで時間がかかっていた。ただインターネットならバリコレをライブ中継でどこでも見ることができる。インターネットの普及で地域格差は小さくなったと思っていたんです。しかし、いざ新潟に戻ると、インターネットを使いこなせる人が少なく、むしろ差が拡大していると感じました。インターネットによって、ますます世界はグローバル競争になっていくのに、僕の子どもが育つ新潟は遅れていく。そのことに僕はショックを受けました。だからこそ『この現状を何とかしたい。誰もやっていないなら僕がやろう』と思い起業したんです。

みんなが働きやすい環境をつくるのが社長の役割



僕は会社の規模をもっと拡大していきたいくて…。そのために社員を増やす必要があるのですが、立川さんは社員を雇って経営する面白さは何だと思えますか?

お話を終えて



僕の高校時代には、高校生が起業するなんてありなかったけど、今は増えてきていますよね。普段、高校生と話す機会はないので、大堀君の考えや試みに刺激を受けました。高校の後輩が何かに挑戦しているのは嬉しいし、お話できて純粋に楽しかったです。



事業拡大のため、社員を集めるには、集める「方法」だけでなく「想いを発信する」ことも大事だと学びました。「自分の会社は何を目指していきたいのか」ということを今一度考え、その想いをもって会社を動かしていきたいです。



喜びも悲しみも倍になるところかな〜。創業したてで一人の時は、成果を上げても喜びを分かち合えず寂しかったけど、今では仲間がいて、喜びも大きくなった。例えば、結婚や子どもの誕生など社員にいいことがあると、自分のことのように嬉しい。ただ、社員に辛いことがあると、僕も悲しくなるんです。



社員を雇うということは「その人の人生を背負う」ということでもありますよね。



うーん、ちょっと違う部分もあるかな。社員を養っていくという意識はないです。社員には仕事を通して個人の腕を磨いてもらっているという感じで、僕はその場を提供しているだけ。そのために、働きやすい環境をつくるのが社長の役目です。もし、僕の会社をやめても活躍できる人になってくれたらそれでいいし、そういう姿を見るのは嬉しいな。



なるほど〜。一人ひとりが自立して仕事をする、その環境を整えているんですね!

トップの想いに共感して社員が集まる



あと、社員を集めたい時に大切なのは「集める方法」ではなく、「トップの想い」だと思うんです。僕の場合は、「地方のIT化をリードする」という想いがある、そこに共感した人が自然と集まり、社員として働いてくれています。「自分の会社は何を目指していきたいのか」という想いをじっくりと考え、発信していくことを大切にしていま

社員を雇って経営する面白さって何ですか?

喜びも悲しみも倍になるところかな〜。

す。お金を理由に働く人は、お金を理由に仕事を辞める。でも、想いに共感してくれている仲間は、苦しい時も一緒についてきてくれます。そういう仲間がいるから、僕の会社は成長できているんだと思うし、たとえ僕がいなくてもまわっていき会社になりました。



想いを明確にし、発信していきたいと思えます!

世界に誇れるIT企業を目指す!



僕は今後、ネットビジネス以外の領域でも仕事を創っていきたくて思っています。自社のサービスを成功させるのが次の目標ですね。また、社会経験が浅いという弱点を補うため、最近では社会人向けに開催される仕事のイベントにも参加しているんです。立川さんはこれからの目標をどんな風に考えていますか?



世界規模でやっていきたいな。新潟で新潟の人や企業のためにサービスを提供することだけが地域貢献ではないと思います。僕は新潟で創業したこの会社を世界で活躍する企業にしていきたい。世界に知られている企業が新潟の企業だったら、それは新潟の誇りじゃないですか。新潟のIT分野をもっと盛り上げるためにも、新潟の人たちが世界に誇れる企業にしたいですね。



世界規模…、すごいな〜。僕も大きな目標を持ってこれからも頑張っていきたいです!

「あこがれの仕事」に会ってみたい 中高生を募集します!

将来目指している職業があり、実際にその仕事についている社会人と会って話してみたいという中高生を募集しています。希望する中高生の皆さんはみらいずBOOK編集部(みらいずworks)宛てに「氏名・学校名・学年・住所・電話番号・あこがれの仕事・なりたかった理由」を書いてお送りください。

※職業によっては希望に添えないこともあります。応募いただいた内容から選考の上、決定させていただきます。あらかじめご了承ください。

Mail : info@miraisworks.jp / Tel&FAX : 025-211-8383